車載情報機器のユーザーインタフェース提案

松原　勉*
相川真実*

Advance Concept of User Interface for On-Board Information Systems

Tsutomu Matsubara, Masami Aikawa

要　旨

今日，車載情報機器は，地図データだけでなく，映像・音楽などのコンテンツや電話帳などの各種データ量の増加によって，大容量HDD搭載や携帯音楽プレイヤーなどとの連携が進んでいる。また，運転者及び乗員が“自分の好きな音楽を聞きたい，映像を見たい”などのニーズも高まっている。

一方で，データ容量の増大や機器操作の複雑化によって，“機器の使い方がわからない，画面表示が見にくい”など，ユーザーからの不満も多く寄せられている。

これらの課題を解決し，安全快適な車載環境を実現することが，車載機器メーカーに強く求められている。

以上の背景から，三菱電機では操作デバイス(操作機器)，音響・映像機器の最適な組み合わせによって，車載情報機器をより安全で快適に操作できる，ユーザー適合型“操作インタフェース”を開発した。

この操作インタフェースの主な特長を以下に示す。

(1)　乗員識別による，各席別のコンテンツや操作環境の最適化インタフェースの実現

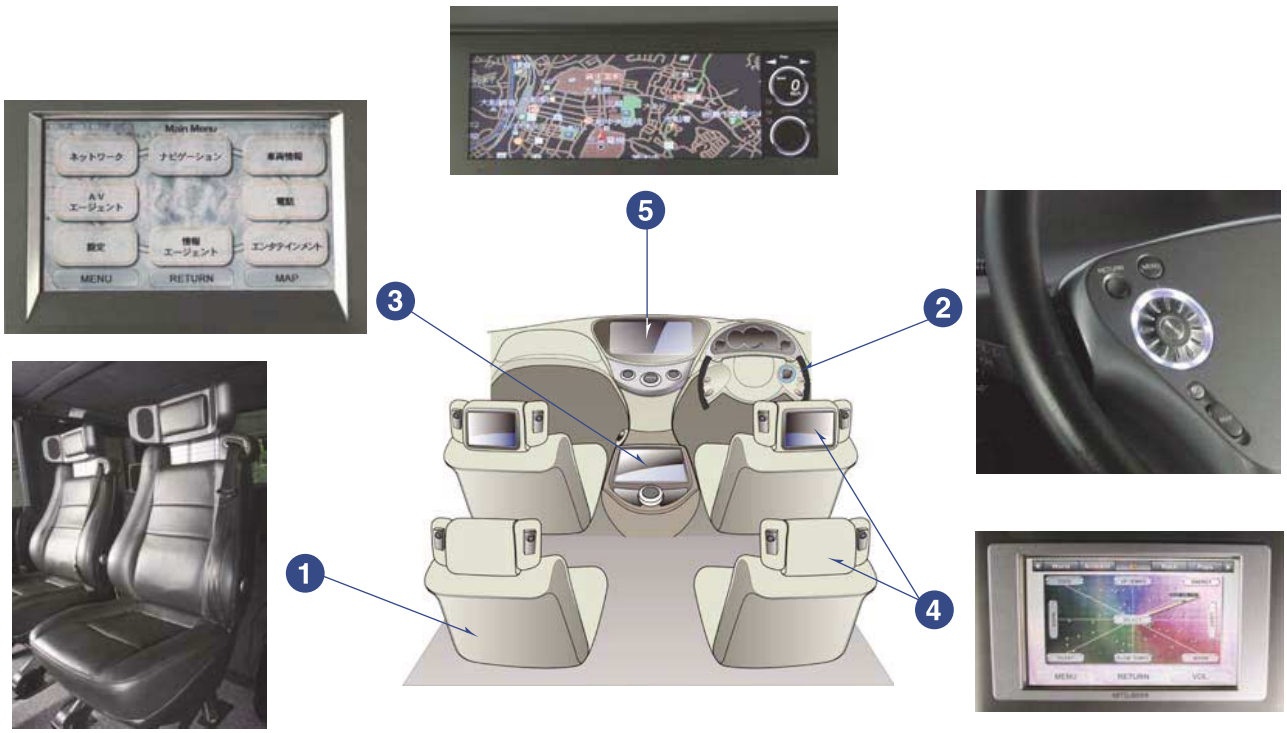
(2)　運転者が，走行中でも安全に大量のコンテンツから選択可能な，安全確実な操作インタフェースの実現

(3)　助手席から簡単に操作可能な液晶タッチパネルインタフェースの実現

(4)　各席用個別音響システムと簡単音楽検索の実現

(5)　走行中・停車中など，状況に合わせ，地図やメータを最適比率で表示する，視認性を向上させた表示インタフェースを実現

本稿では，これらユーザーの好みに合わせた，ユーザー適合型インタフェースの特長と概要について述べる。



車載情報機器のユーザーインタフェース提案内容の補足

①各乗員への最適コンテンツの提供可能な，乗員識別システム，②ハンドルに搭載した安全簡単な操作インタフェースリモコン，③助手席からも画面を見ながら簡単に操作可能な，液晶タッチパネル，④各席用個別音響システムと簡単音楽検索画面，⑤状況に合わせた表示で視認性を向上させたワイド液晶画面。

*デザイン研究所